

個人戦の進め方について(R7飯水中高大会)

1 進行全体の流れ

- (1) 最初、男子女子ともに1回戦の試合の選手が台に入る。
- (2) それ以降は 男子1回戦 → 女子1回戦 → 男子2回戦 → 女子2回戦…と進行していく。
※なお、試合進行により変更する場合もあるので、放送を注意して聞くこと。

2 台につく選手とベンチに入る選手

- (1) 台につく選手

《男子》

試合番号	1-1	の生徒	1コートへ	試合番号	1-2	の生徒	2コートへ
	1-3	の生徒	3コートへ		1-4	の生徒	4コートへ
	1-5	の生徒	5コートへ		1-6	の生徒	6コートへ
	1-7	の生徒	7コートへ		1-8	の生徒	8コートへ
	1-9	の生徒	9コートへ		1-10	の生徒	10コートへ
	1-11	の生徒	11コートへ				

《女子》

試合番号	1-1	の生徒	12コートへ		1-2	の生徒	13コートへ
	1-3	の生徒	14コートへ		1-4	の生徒	15コートへ
	1-5	の生徒	16コートへ		1-6	の生徒	17コートへ
	1-7	の生徒	18コートへ		1-8	の生徒	19コートへ
	1-9	の生徒	20コートへ		1-10	の生徒	21コートへ
	1-11	の生徒	22コートへ		1-12	の生徒	23コートへ
	1-13	の生徒	24コートへ				

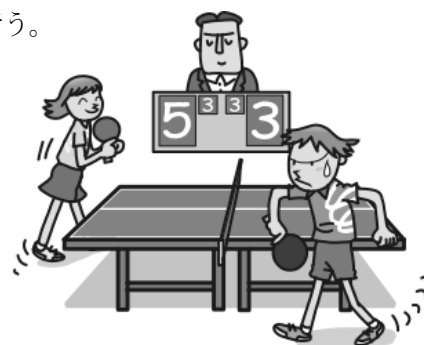
- (2) ベンチに入る選手

- 女子1回戦 **試合番号1-14 ~ 1-23**の選手はベンチに集合する。
- 本部横のベンチに、試合の順番に2人で前後に座る。
- コールされた選手は、試合のできる準備をして速やかにベンチに集合すること。

3 審判台の割り振り

南 宮→1~6コート (6台)	中野平→7~10コート (4台)
城 北→11~13コート (3台)	山ノ内→14~16コート (3台)
高 社→17~19コート (3台)	豊 田→20コート (1台)
城 南→21・22コート (2台)	木島平→23・24コート (2台)

- 第1試合のみ、指定審判で試合を行います。あらかじめ指定された台に誰が入るのか決めておく。
- 本部に記録用紙を取りに来てから指定された台に入り審判を行う。



4 敗者審判制の流れ

勝った選手	負けた選手
①ギャラリーに上がり、次の試合のコールを待つ。(忘れ物に注意)	①審判から記録用紙(紙ばさみも一緒に)をもらい <u>ボールと筆記用具が入ったかごをもって</u> 本部に行く。(着替えなどは後回しにする) ②記録用紙を係に渡し、報告をする。 ③ベンチにいる選手を、今試合をやった台まで案内する。 ④審判(副審)を行い、記録用紙に点数を記入する。 ⑤試合が終わったら、 <u>記入もれがないか確認</u> し、負けた選手に記録用紙(紙ばさみも一緒に)をわたす。

※準決勝以上の試合から各チームから1名ずつ審判を出して試合を行います。

《審判をする時の注意》

- 一人で審判を行うときは、副審をしながら主審もつとめます。自信をもってジャッジをする。
- 得点の合計が6の倍数のとき、得点板を高く上げ、ギャラリーに見せるようにする。
- 記入もれがないように注意し、勝った選手にわたす前に確認をする。
- ボールがなくならないように管理をする。
- トラブルが生じた場合、ただちに本部に連絡をする。

《個人対戦表 - 記入例》

①コート番号、審判名を書こう

コート No.	主審
24	佐藤

〇〇年度卓球大会
 〇〇年〇月〇〇日
 〇〇市民体育館
 男子シングルス

回戦	1
試合番号	12-340

②得点、ゲーム数をていねいに書こう

S・R	サービス・レシーブ	得点	S・R	サービス・レシーブ
No.	選手名	対	No.	選手名
3			2	
0	中野 太郎 (中野中)	11 - 8 5 - 11 11 - 9 11 - 13 12 - 10	300	飯山 次郎 (飯山中)
中 野		選手 署名	飯 山	

- ③選手に得点を確認してもらい、署名をもらう。
 今回の大会ではやらなくてOK！(北信越レベルになるとやることもあります)